

豊かな環境を守るために

12月24日(木)、1月27日(水)／大落古利根川



特派員 れぽーと

広報特派員によるスナップレポートをお届け

大落古利根川に架かる清地橋上流で環境団体「すぎとエコグリーン」・すぎと環境会議のメンバーの皆さんが集まり、川の応援団活動としてゴミ拾いを実施しました。この活動は環境保全のため、年間5回、15年間にわたりずっと実施しているそうです。

新たに整備された護岸ですが、清掃前は歩道部に投下されたペットボトル等の廃棄ゴミが目立っていました。環境保全のため、清掃していただいた皆さんの活動を無駄にすることなく、住民がゴミを投棄することがないように、町の貴重な財産として豊かな親水空間を保持していかなければならないと思いました。

(広報特派員 渡辺 光子、坂本 吉江)

健康維持でコロナを吹き飛ばせ！

1月21日(木)／大栄団地公園 (大字下高野)



暖かな晴天の下、12名が集まり、グラウンド・ゴルフを楽しんでいました。毎週月・水・木・土曜日13時～14時30分に集合し、プレーをしているそうです。新型コロナウイルス感染予防対策をとり、楽しみながら健康に励んでいます。

(広報特派員 渡辺 光子)

地域の環境を守ろう

12月19日(土)／第26区 (並塚地区内)



第26区では、町有地の樹木の伐採や除草作業を実施しました。第26区長は、「火災予防・安全対策のため、これからも住民参加による地域の環境保全活動に鋭意取り組みたい。」と語っていました。

(広報特派員 坂本 吉江)

感謝の思いを手紙に込めて

2月5日(金)／すぎと幼稚園 (大字清地)



すぎと幼稚園児が、おじいちゃん・おばあちゃんへ日頃の感謝の思いをつづった手紙を書きました。子どもたちは、自分の似顔絵・写真なども同封し、年長さんが代表して近くのポストに投函しました。投函後、郵便局の協力を得て、ポストの中身を見せていただき、貴重な体験をしました。おじいちゃん・おばあちゃんに、みんなの思いが届きますように。

(広報特派員 染谷 美由紀)

優しい光に包まれた幻想空間

12月21日(月)／大落古利根川



綺麗に整備された大落古利根川の散策路に、和のイルミネーションとして竹灯籠300基が配置されました。普段の大落古利根川に明かりが点灯され、にぎわいを見せていました。

(広報特派員 渡辺 光子)

1月29日(金)／宝くじ助成金

消防団活動に活用

杉戸町消防団では、令和2年度宝くじの助成金を受けて、防火衣12着を整備しました。この備品は今後、火災現場等における消防団活動に活用されます。



一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源としてコミュニティ助成事業を実施しています。

2月／宝くじ助成金

地域コミュニティ発展のために活用

並塚上才羽自治会(大字並塚地内)では、宝くじの助成金を受けて、エアコン、電子レンジ、机、パソコンなどを購入しました。今回購入した備品は、コミュニティ発展のために活用されています。



一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として宝くじの受託事業収入を財源としてコミュニティ助成事業を実施しています。

2月12日(金)・13日(土)／協働型災害訓練in杉戸

ニューレジリエンスの幕開けを体感！

杉戸町・富岡町・川内村地域間共助推進協議会では、東日本大震災の経験と教訓を生かすべく、平成25年度国土交通省広域的地域間共助推進事業として「協働型災害訓練」をスタートしました。今年は、o2o方式(Online To Offline)の開催方式を採用し、杉戸会場と全国・全世界を繋いで2日間にわたり、実施しました。



この訓練には、自治体の職員、災害現場等の指揮系統や管理手法を学びたい人、延べ180名(オンライン参加含む)が参加し、白熱した議論が繰り広げられました。

1月14日(木)／表敬訪問

箱根駅伝 3区疾走！

1月2日(土)・3日(日)に開催された「第97回東京箱根間往復大学駅伝競走」に、杉戸町立東中学校出身である東京国際大学4年生の内田光選手(22歳)が、3区(戸塚～平塚間)を疾走し、同校のシード権獲得に貢献しました。



(写真左から)古谷町長、内田選手

卒業後は、実業団として競技を続ける予定です。内田選手の今後の活躍を期待しています。(※写真撮影時のみ、マスクを外しました。)

1月22日(金)／杉戸町下水道事業審議会

下水道事業経営戦略の答申を提出

町では、下水道事業が将来にわたって安定的に事業を継続していくために、中長期的な経営の基本計画である経営戦略を策定することとしています。そのため、令和2年10月14日に杉戸町下水道事業審議会に対し諮問し、これまで4回にわたり審議を重ね、この度、杉戸町下水道事業経営戦略について古谷町長に答申を提出されました。



(写真左から)古谷町長、下水道事業審議会・今会長、川嶋副会長
経営戦略の内容は、町ホームページに掲載し、お知らせします。

1月25日(月)／ハンドソープ等寄付

町へハンドソープ等の寄付をいただきました

銀座ステファニー化粧品株式会社様から、新型コロナウイルス感染症の対策に役立ててほしいとのご意向を受け、ハンドソープ6,048個、アルコールハンドジェル6,420個の寄付をいただきました。



【古谷町長コメント】：大変ありがたく、ハンドソープ等は、町民の皆様のために有効に活用させていただきます。